



# 常一小だより

令和3年11月2日  
松戸市立常盤平第一小学校

11月号

学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/toki1-e/>

児童数 96名

## 観天望気Ⅲ ～教育の力で今後に備える～

校長 平松 澄明

感染状況が改善して、緊急事態宣言下の緊張感から解放された11月のスタートです。

コロナウイルスがどこかへ行ってしまったような印象が広がる社会状況で、コロナ禍の好転は大変喜ばしいことですが、その「天気図」のもとで「観天望気」によって私たちは、この晴れ間を利用した積極的な活動とともに次の事態への準備をすることが求められると判断します。

先月は、校内ではまだまだガイドラインの制約があるものの、正常な学習活動が取り戻され、指導計画に従って順調に学習が進みました。また、1年生から4年生までのバスを利用した校外学習が、素晴らしい秋空の下で2年ぶりにそれぞれ実施されました。さらに、これまでのブラスバンド部に代わり6年生が学年の取組みとして市内合同音楽会に出場し素晴らしい演奏をしました。また、6年生の日光への校外学習も好天に恵まれ実施できました。このあとの5・6年生の校外学習や宿泊行事の実施に期待が高まっています。

オンライン学習より対面学習の方が効果をあげられます。校外学習は、貴重な体験的な学びと社会性の向上の機会を保障すると実感しました。この順調な流れをこれからも維持したいです。

3・4年生が行った「明治なるほどファクトリー」は、清潔な工場の厳重な感染対策により学習の場を提供してくださいました。一方で街中では、「大丈夫？」と思うような密な状況や予防対策の実態が散見されます。結局、子どもたちの学びを保障する要となる取り組みはここにあります。

インフルエンザの流行も懸念されます。また、世の中には様々な感染症が存在します。どんな状況下でも、学校や家庭でできることは、これまでに培った衛生や保健の意識や技術を「教育の力」で維持・継続して徹底するしかありません。これが「今後の事態への準備」となります。先日配布の「ほけんだより」にもある「うまくきたえて」と「11月9日(いいくうきの日)」などを意識して、「毎日の検温と健康観察カードへの記入」や「お子様やご家族の体調不良やPCR検査実施等の際の学校への連絡」などお子さんやご家族の衛生・健康管理に引き続きご理解・ご協力をお願いします。さらに、厳しい状況が過ぎ去ったとしても、辛く苦しい状況下でも人々を支えてくださった方々への感謝とお互いを思いあう優しい心もまた「教育の力」で大切にしていきたいと思えます。

私たちは、子どもたちや保護者の皆様と協力し本校の特色と利点を活かし、この教育活動正常化の流れを確実に捉えて、松戸一小さな学校で成果をあげたいと思えます。「がんばろう 常一小！」



### 校外学習・宿泊行事の集金等について

1～4年生の校外学習は、松戸市の新型コロナウイルス対策である市の「借り上げバスを活用制度」を利用して年度当初の計画より大幅な費用の削減ができました。一方、5・6年生の宿泊行事が緊急事態宣言により中止・延期となった件については、本市の財政上の手続きの関係で、保護者の皆様が負担されたキャンセル料を市が補填するという形をとるため、先日のお手紙でお知らせしたように「ご家庭よりいったん支出の後に口座への振込」となり、手数料のみご負担をいただくこととなりました。また、感染状況の変化に合わせたことにより、行事の実施時期が重なりそれによって集金の間隔が短くなりご負担をおかけしています。当初の集金計画で十分にご説明できなかったこととともに、お詫び申し上げます。なお、ご不明な点は教頭までお問い合わせください。

## ★6年生が印した第一歩!★

去る26日、森のホールにて「松戸市小中学校合同音楽会」が開催されました。これまでの常一小はブラスバンド部が出演してきましたが、コロナ禍での練習が難しくなり、小規模化で音楽専科の先生を置くことができなくなった本校は、学年での参加を決意しました。

この形態での参加はおそらく市内初の試みです。元中学校の先生の助言を受けて練習を重ね、コロナ禍でも演奏可能なパーカッションによる合奏「打楽器のための小品」(黒沢吉徳作曲)を仕上げて参加し、東日本大会銀賞受賞の中学校などとも引けを取らない、常一小6年の団結を見せた見事な演奏を披露しました。



## ☆ありがとうございました! これからの常一小の連携の在り方の試金石☆

先月は、臨時総会の準備や保護者の皆様の自発的な提案による除草作業の実施といった活動がありました。紙面総会は円滑に進められ、校地もきれいになって、感謝の言葉しかありません。意図したものではありませんが、先月の保護者の皆様の活動がこれから築き上げていく新しい体制ではないかと考えます。「PTA」という名称はなくなり、会費徴収や従来の役員や当番はなくなりますが、これまででも申し上げてきたように、学校運営では「学校-家庭-地域」の連携は必要不可欠であり重要なことです。

このためこれからは、学校支援ボランティアというお立場で保護者の皆様に関わっていただく体制を作っていきたいと思っています。「保護者の皆様と教育活動を盛り上げたい」「環境整備をしたい」という私たちの思いと保護者の皆様の子どもたちのために力を発揮したいという気持ちで「Win-Win(ウイン-ウイン)」の関係を育むのが生涯学習の視点で無理なく活動できるということです。この流れの中で無理せずゆっくりと「連携」を育んでいきたいと思えます。

## アンケート調査のお願い

「子ども外遊びを通じた地域住民との関わりに関する研究」をされている高崎経済大学寺田先生よりアンケート調査を依頼されました。先生は、URとも連携をされていて研究成果が常盤平団地も含め団地の今後のあり方にも反映されると説明を受けました。後日用紙を配布します。回答は任意ですが、趣旨をご理解の上なるべく多くのご家庭にご協力をいただければと存じます。

## 2学期末保護者会について



- 1 日時 配布されたお便りでご確認ください。
- 2 内容 全体会と学級懇談会(2学期の子どもの様子・成績について等)を予定しています。  
※ 日程の詳細は後日ご連絡します。新型コロナウイルスの感染状況などで、日にちや内容などに変更があることを予めご了承ください。

## 令和3年度末及び令和4年度初めの日程について

卒業式 修了式 始業式 入学式  
配布されたお便りでご確認ください。

## 教職員の綱紀粛正について

児童生徒とのSNS等を利用した私的なやり取りや自家用車への同乗などが禁止されているにもかかわらず、それに違反する不祥事が本県でまた発生したと報道されました。本校に直接関係がある事案ではありませんが、公務員として襟を正すべき事案であると私たちも考えます。あつてはならないことですが、セクシャルハラスメントに関する事案の本校の相談窓口は、担任・養護教諭・教頭となっています。また、先日別紙お便りでお知らせしたように、千葉県教育委員会のホームページにある「児童生徒向けわいせつセクハラ相談窓口」もご利用いただけます。